

📍 1844(天保14)年頃の江戸城の周辺



平川(現在の神田川)の水が江戸城の内堀に流れ込まないように放水路が築かれた。開削は1620(元和6)年に始まり、1660(万治3)年に拡幅された。仙台藩が工事を行ったことから「仙台堀」とも呼ばれていた。

テキサス大学所蔵の江戸図(1844～48年)をもとに作成

column

将軍に賞賛されたお茶の水

正式な町名ではないが、駿河台の一带を指す御茶の水という地名は、神田川沿いにあった高林寺の湧き水に由来する。この湧き水で点てたお茶が徳川秀忠に献上され、秀忠が賞賛したことから、この地名が定着した。高林寺は1657(明暦3)年に発生した明暦の大火で本駒込に移り、湧き水もその後の洪水で失われたという。御茶ノ水駅の御茶ノ水橋口向かいの交番横に由来を記す「お茶の水石碑」がある。



お茶の水石碑。